

<力のコーディネーター入門コース2024>

～式次第～

10:00～10:05	開会のあいさつ	長田 耕一郎 (咬合療法研究会・九州支部長)
10:05～10:10	講演会の説明	
10:05～10:45	用語説明	川端 理恵子先生 (長崎市 きらきら歯科医院歯科衛生士)
10:45～10:55	休憩・準備	
10:55～13:00	講演①『「力のコーディネーター」が育って欲しい』	筒井 照子先生 (北九州市 筒井歯科・矯正歯科医院)
13:00～13:45	お昼休み	
13:45～13:55	ご案内(総会・支部会他案内)	
13:55～14:45	講演②『態癖 力がわかると仕事が変わる』	大石恒子先生 (久留米市 もとむら歯科医院)
14:45～14:55	休憩	
14:55～15:40	講演③『力のコーディネーターとして私が行ったアプローチ』	細川くみ子先生 (香川県 医療法人社団 久真会 大木眼科久保歯科医院 歯科衛生士)
15:40～15:55	質疑応答	
15:55～16:00	閉会のあいさつ	富山 明尚 (咬合療法研究会 副支部長)

司会：山口 香奈美

～抄録～

講演①

「力のコーディネーター」が育って欲しい

北九州市 筒井歯科・矯正歯科医院 筒井照子先生

歯科臨床は大半が「炎症と力のコントロール」です。今は、きれいな歯肉、プラークのない口腔が常識です。しかし「力」は「炎症」よりわかりにくく、解明が遅れました。

「力」もパズルが解ければ簡単だったのです。

基本は2つ

1.人の顔は左右対称

2.歯列は広めのU字型、左右対称 舌の形を写す

この2つが崩れていたら、よくない力がどこかにかかっています。それが個体差の中で発症します。

顔面、口腔の個体差をSMC分類(骨格、筋肉、咀嚼)としました。

患者さんの訴えを聞き、疾病に関係しているかもしれない形態の成り立ち、個体差の中でのよくない生活習慣と発症との関係。

あるいは、将来発症するかもしれない可能性を理解していただき、歯科医と患者さんとの間の橋渡しの仕事として、「力のコーディネーター」が定着することを願っています。

講演②

「態癬 力がわかると仕事が変わる」

久留米市 もとむら歯科医院 大石恒子先生

多くの歯科疾患の予防や治療を、態癬-力へのアプローチなしに行うことは難しいです。口腔内の虫歯や歯周病は、直接見ることができ、原因も分かりやすく、その予防法や、治療もイメージが湧きやすいと感じられます。しかし力ってまず、どうやってみるのだろうと、考えてしまいますよね。それにはコツがあるのです。今回は「患者さんにあった態癬指導をした 顎関節症症例」と、「必要な態癬指導が無かったために 多くの不定愁訴を経験するまでになってしまった顎関節症症例」を通して、力の見方のコツ、態癬指導の重要性などについてお話ししたいと思います。顎関節の話なんて難しくついていけないかもと心配なあなた、大丈夫です。超やさしくて面白い顎関節症の解説もしますのでぜひお聞きくださいね。力のことがわかると、全ての予防のレベルが上がります。また、患者さんの言葉や、気持ちが理解できるようになり、喜ばれることが増えます。皆さんが、明日からの臨床で、今以上に「患者さんも私達も happy になれる素晴らしい仕事」を体験されることを心から願っています。

講演

「力のコーディネーターとして私が行ったアプローチ」

医療法人社団 久真会 大木眼科久保歯科医院 歯科衛生士 細川くみ子先生

力のコーディネーター勉強会で態癬や力のコントロールへの対応を学びました。日常生活の中で行われるさまざまな態癬は口腔の形態、さらには心身に影響を及ぼすので生活習慣のアドバイスは非常に大切です。

力の問題の情報収集ができる問診表を活用し、患者様の主訴と口腔に現れる力のサインがどう関連しているか資料採取を行い、態癬と生活習慣のアドバイスの小冊子を使って説明しました。院内ミーティングで問題点を整理し、よくない生活習慣について患者様ご自身で注意していただく必要性を説明しました。歯周基本治療を開始し、歯肉退縮を防ぎクリーニングを促す筒井方式 改良ローリング法を取り入れました。

資料採取を受け入れてくれるのに2年かかりましたが、顎口腔系に悪影響を及ぼす態癬を理解し、症状が改善され、信頼関係が築けたので、治療に協力的になりました。態癬をやめたこととMFTにより上顎の幅径が広がり、バイトが上がりました。

力と炎症のコントロールの両方にアプローチする意義を知り、患者様に喜んでいただけることが励みになりました。

態癬は再発しやすいので、定期的に規格性のある資料採取をして態癬を早い段階で見つけて患者様のサポートをしていきたいです。